

社会福祉法人弥勒会  
事業報告書

平成 26 年度

## 平成26年度 いでの里 事業報告

平成26年度は、在宅系事業所の運営がたいへん厳しく、安定した運営の入所系事業所がそれをカバーした1年間となりました。

在宅でいでの里を利用されていた方の入院が相次ぎ、デイサービス、ヘルパーステーション、ショートステイの稼働が期初から低迷し、夏場に回復基調は見られたもののデイサービス、ヘルパーステーションは通年で厳しい結果となりました。

その厳しい状況をカバーしたのは、通年で体調不良での入院者が少なく、冬場に数名のインフルエンザ患者が認められたものの、ノロウイルス他感染症が蔓延することがなく、一年を通して安定した運営のできた特別養護老人ホームやグループホームでありました。安定した運営の要因は、介護職員が入居者のことを十分に把握し、日々の介護や感染症対策に、介護のスキルや強い気持ちが反映した結果だと考えております。

平成26年度は、それぞれの事業所がカバーし合い、いでの里全体では、ほぼ予定通りの実績を残すことができた年度でありました。

いでの里では、平成26年度3つの目標を掲げました。

1つ目の目標「サービスの質の向上・管理」につきましては、新入職員にはグループ全体の社会人教育からスタートし、担当職員により段階を踏んで教育指導を行いました。また委員会活動での講演等で、介護現場だけでなく教育スキルアップの場を、他職員を交え設けてきました。(資料1) 中堅職員には、スキル経験に合わせた外部研修の受講を積極的に行い(資料2)、スキルアップによる質の向上を図って参りました。

2つ目の目標「設備の整備・機器の更新推進」につきましては、井手町の協力を得て平成27年3月にデイサービスセンターの給湯用ボイラーの入れ替え設置工事が完了し、また同時に故障がちのデイサービスセンターの入浴用リフト(座ったまま浴槽に入れてくれるリフト)も新しく入れ替えていただき、順調に稼働しております。今後も計画的に設備の整備更新を行ってまいります

3つ目の目標「地域と共に 家族と共に」については、一年を通して各事業所の運営の中で、地元ボランティアの皆様がご利用者や入居者に寄り添い、楽しい時間を提供していただいています。また施設のイベント等でも、地元ボランティアの皆様の協力が不可欠、大きな力となっております。そして、ご利用者や入居者が地元の行事に参加することもすっかり定着し、楽しみとなってきております。また地元の児童や生徒との交流の場も増加してきており、今後も積極的に交流し地域と共に運営して行きたいと思えます。

## 事業運営

### 1. (1)介護保険サービス事業者等実地指導

7月30日、京都府山城北保健所による実地指導を受けました。

指導対象 弥勒会井手町ヘルパーステーション  
弥勒会井手町在宅介護支援センター  
特別養護老人ホームいでの里

山城北保健所職員4名により実施されました。特別養護老人ホームで1件介護保険請求相違の指摘を受け訂正いたしました。他には口頭での指導はあったものの、運営上重大な不備のない結果で終わることができました。

### (2)社会福祉法人等指導監査

11月28日、京都府山城北保健所による指導監査を受けました。

監査対象 特別養護老人ホームいでの里

山城北保健所職員2名により実施されましたが、運営上重大な不備指摘なく終了いたしました。

### 2. 納涼祭

7月27日、夏の風物詩として、昔を思い出し懐かしんでいただき、家族間や地域交流を深める場として、納涼祭を実施いたしました。多くの地元ボランティアの皆様、井手町社会福祉協議会の皆様、学生ボランティアの皆様、そしてご家族の皆様の協力を得て、盆踊りや出店、花火を楽しんでいただきました。

入所系の職員にとっては最大のイベントになり、早くから実行委員会を立ち上げ準備してきたこともあり、事故なく無事終了し、多くの方々に喜んでいただけたことは、たいへんうれしく思っております。

### 3. 敬老祝賀会

9月21日、京都府や井手町からの多くの来賓をお迎えし、入居の皆様やご家族、特養等の職員一同で盛大な敬老祝賀会を開催いたしました。井手町からは、88歳、95歳を迎えられた皆様に記念品が贈られ、施設や職員からは、ご入居されている全員の皆様に記念品を贈らせていただきました。

たくさんの祝辞もいただき、全員でお年寄りのご苦勞を敬い、素晴らしい式典になりました。

#### 4. 秋の大運動会

10月19日、秋の大運動会を開催いたしました。ボランティアで和太鼓の演奏を披露していただき、たいへん場が盛り上がりました。

借り物競争や玉入れを行い、笑いと元気いっぱいのハッスルプレーで楽しいひと時を過ごしていただきました。今年も青空のもと、ハッスルプレーをしていただければと思っています。

#### 5. 井手町文化祭

11月1日、2日、恒例の文化祭に参加させていただきました。デイサービス特養、グループホーム、ケアハウスの皆様が、細かな作業を根気よくしていただき、事業所単位で作品を創作し披露されました。また、職員が外出レクリエーションの一環として、サポートしながら会場見学も行い、楽しんでいただきました。これからも継続実施して参りたいと思います。

#### 6. 家族会

11月9日、家族会交流会を開催いたしました。昼食の試食会を行い普段の入居生活のほんの一部ですが体験していただきました。食事後は、お招きした講師の指導により全員で楽しく健康体操を行いました。

2月15日には、家族会総会を開催し、年度事業報告等を行いました。終了後には山城北保健所から講師をお招きし、「感染症予防について」の講演勉強会を実施、実際にブラックライトを使って正しい手洗いの勉強も行いました。

#### 7. 地域と共に

高齢者や認知症について理解を深めていただくために、地元の児童、生徒たちと交流をしてみました。

8月 7日 泉が丘中学校 福祉体験学習 6名

11月18日 井手小学校 社会見学（施設見学）4年生46名

11月18日 井手小学校 認知症キッズサポーター養成講座6年生42名

12月12日 多賀小学校 認知症キッズサポーター養成講座5,6年生34名

3月11日 多賀小学校 コーラス披露 15名

認知症サポーター養成講座については、地元地域包括支援センター、社会福祉協議会と協力し実施しております。

今後も継続し、交流を深めてまいります。

## 主要事業所の利用状況

### 1. 特別養護老人ホーム

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度利用者数	2,167	2,082	2,057	2,230	2,291	2,198	2,256	2,116	2,199	2,206	2,052	2,263	26,117
25年度稼働率	96.3	89.5	91.4	95.9	98.5	97.7	97.0	94.0	94.6	94.9	97.7	97.3	95.4
26年度利用者数	2,117	2,246	2,144	2,201	2,274	2,206	2,265	2,180	2,240	2,178	2,002	2,226	26,279
26年度稼働率	94.1	96.6	95.3	94.7	97.8	98.0	97.4	96.9	96.3	93.7	95.3	95.7	96.0

平成 26 年度は、一年を通して大きな事故は無く、冬場の感染症は数名にインフルエンザの発症は見られたものの、最も懸念していたノロウイルスの発症は無く、安定した運営が行えた一年間でありました。また、空きベッドをできるだけ作らないと言う職員の意識の向上、個々の介護技術のスキルアップも安定運営に寄与したものと思われま

す。その結果、平成 26 年度稼働率は 96.0% の高稼働率を確保することができ、良好な実績を収めた平成 25 年度を 0.6% 上回ることができました。

### 2. ショートステイ

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度利用者数	214	291	302	302	308	262	292	293	285	210	218	264	3,284
25年度稼働率	71.3	93.9	100.7	97.4	99.4	87.3	94.2	97.7	91.9	67.7	77.9	85.2	88.8
26年度利用者数	242	248	264	293	292	285	274	278	287	274	260	287	3,284
26年度稼働率	80.7	80.0	88.0	94.5	94.2	95.0	88.4	92.7	92.6	88.4	92.9	92.6	90.0

平成 26 年度は、在宅で施設利用されているご利用者の入院が相次ぎ、4月5月の稼働率が伸び悩みました。

対策としまして、多少効率は悪くなりますが営業エリアを広く設定し、利用者確保のため営業を重ねることで、稼働率アップを図り、夏以降は順調に運営は推移いたしました。

その結果、平成 26 年度の稼働率は 90.0% で、前年を若干ではありますが上回ることができました。

### 3. グループホーム

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度利用者数	210	217	210	217	219	240	237	210	217	212	213	248	2,650
25年度稼働率	77.8	77.8	77.8	77.8	78.5	88.9	84.9	77.8	77.8	76.0	84.5	88.9	80.7
26年度利用者数	240	250	270	279	279	269	279	270	279	279	252	279	3,225
26年度稼働率	88.9	89.6	100	100	100	99.6	100	100	100	100	100	100	98.2

平成26年度は、1部屋空室の状況からスタートしましたが、5月30日に満室となりました。以降9名の入居者全員の健康状態は良好で、入院されることも無く、9月に1部屋の入退居がありましたが、年度末まで稼働率100%の日々が継続されました。職員の努力もあり、入居者の皆様に良い時間を提供できたものと考えております。

その結果、平成26年度は98.2%の高稼働率で終わることができました。

### 4. ケアハウス

(人・%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度利用者数	450	465	409	434	425	374	372	364	403	395	314	375	4,780
25年度稼働率	100	100	90.9	93.3	91.4	83.1	80.0	80.9	86.7	84.9	74.8	80.6	87.3
26年度利用者数	360	410	415	401	406	386	424	411	460	440	385	407	4,905
26年度稼働率	80.0	88.2	92.2	86.2	87.3	85.8	91.2	91.3	98.9	94.6	88.5	87.5	89.6

平成26年度は、入居者の高齢化も進み、体調不良等で入院されるケースが増加したこと、また有効な待機者が少なく、退所された時の入居者決定までに時間を要していることもあり、稼働率は89.6%の結果でありました。

常日頃から、近隣の病院や居宅介護支援事業所へ宣伝活動を行い、新聞チラシの広告等を実施することなど、直ちに入居したい待機者だけでなく、今は生活に支障はないが、将来的な事を考えて興味を示している待機者も、確保していくよう努めております。

## 5. デイサービス

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度利用者数	859	852	805	864	846	752	798	761	702	695	623	685	9,242
1日当り利用者	33.0	31.6	32.2	32.0	31.3	30.1	29.6	29.3	28.1	29.0	26.0	26.3	29.9
26年度利用者数	710	698	663	740	703	716	772	714	782	705	720	802	8,725
1日当り利用者	27.3	25.9	26.5	27.4	27.0	27.5	28.6	28.6	30.1	29.4	30.0	30.8	28.3

平成26年度は、前年の終盤から利用頻度の高い利用者の入院が相次ぎ、4月以降夏場まで利用者数が低迷し、たいへん苦戦を強いられる一年間でありました。

下半期に入り、新規利用先の増加、既存先の利用頻度の増加推進、入院されていた利用者の退院による利用復活等で1日当たりの利用者数が徐々に増加し、毎年利用者数が落ち込む冬場に、実績を上げる状況となりました。

デイサービスの全職員が、危機感を持って取り組みし、他事業所の職員の協力もあってリカバーに努めましたが、前半戦の低迷が大きく響き、前年を下回る実績となりました。

## 6. ヘルパーステーション

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度利用者数	984	1,067	1,030	1,027	1,067	869	868	802	728	681	725	711	10,559
1日当り利用者	32.8	34.4	34.3	33.1	34.4	29.0	28.0	26.7	24.3	24.3	25.9	22.9	29.9
26年度利用者数	789	775	604	653	641	637	723	627	660	630	584	710	8,033
1日当り利用者	26.3	25.0	20.1	21.0	20.6	21.2	23.3	20.9	22.0	22.5	20.8	22.9	22.2

平成26年度は、利用頻度の高い利用者の入院や施設入所でヘルパー不要となり、利用者数が大きく減少し、厳しい運営の一年間となりました。

訪問介護のニーズはあるものの、ご利用時間が朝夕に集中する傾向がより強くなり、日曜日のオーダーも増えており、ヘルパーの確保がより重要となっていますが、応募者がいない難しい状況にあります。

また、お正月のヘルパー利用もふえてきており、平成27年度から年末年始の営業を行う事といたしました。

## 資料 1

## 平成 26 年度 委員会施設内研修記録

日時	テーマ	講師
4月22日	京都伏見しみず病院グループの展望	京都伏見しみず病院グループ 清水幹久専務理事
5月22日	摂食嚥下障害と食事介助 ～とろみの実践～	(株)明治 森戸氏
6月17日	簡単にできるストレスチェック	DVD 講師 横浜労災病院メンタルヘルスセンター長
7月25日	介助のコツ	第2岡本総合病院 リハビリ科 田後先生
8月18日 8月19日	救命講習	消防署 井手分署
9月30日	認知症研修 パーソンセンタードケアについて	講師 立川 佳子様
10月17日	接遇	京都伏見しみず病院グループ 中川部長
11月26日	ターミナルケア	介護老人保健施設 第二京しみず 糸賀 看護師長
12月18日	高齢者施設における ノロウイルス インフルエンザウイルス感染について	山城北保健所 山本篤仁先生
1月14日	身体拘束 ～スピーチロック～	京都府介護地域福祉課 木下氏 山城北保健所 長谷川氏
2月20日	褥瘡・体圧分散と姿勢	(株)オムニ商会 富山氏 (株)ワタキュー 長尾氏
3月17日	認知症薬・精神症状と薬	山崎薬局 山崎先生 吉沢先生 片山先生



## 資料 2

## 平成 26 年度 外部研修記録

実施期日	演題・テーマ	実施者	場 所	内容の概要等
(期 間)	(講習会名)	(主催者)	(実施地名)	
5月8日	H26年度 京都府老人福祉協議会 新任研修会	京都府老人福祉協議会士会	京都社会福祉会館	利用者の「尊厳」を大切にす接遇を学びます。 組織の中で働く意味を理解し、目標達成のための協働について学びます。
5月23日	H26年度介護保険サービス事業者等に係る集団指導	京都府保健福祉部・地域福祉課	文化パルク城陽	「京都府における介護保険事業者等指導・監査方針」「事業運営上の重点事項等」
6月3日	H26年度社会福祉施設長研修会	京都府・京都府社会福祉協議会	キャンパスプラザ京都	社会福祉施設における人権擁護について認識を深め施設長の資質向上を図る。
6月8日	やましろ認知症地域ケア連携協議会記念講演会	やましろ認知症地域ケア連携協議会	ひと・まち交流館	設立2周年記念講演・総会 「地域で取り組む認知症ライフサポート」
6月11日	H26年度 指定障害福祉サービス事業者等に係る集団指導	京都府保健福祉部・地域福祉課	文化パルク城陽	「京都府における介護保険事業者等指導・監査方針」「事業運営上の重点事項等」「請求事務に係る留意事項等」「関連団体からの説明等」
6月13日	H26年度企業内人権啓発推進委員研修会、学卒求人説明会	京都労働局	宇治市文化センター	人権啓発について講演 公正採用選考について・学卒求人ルール説明と提出について
6月19日	南部ブロック 栄養士部会	山城ぬくもりの里	山城ぬくもりの里	情報交換 行事食・フロアでのおやつ作り 栄養補助食品について
6月27日	H26年度 中堅職員研修	京都市福祉施設協議会	京都社会福祉会館	職場のリーダーシップとフォロワーシップを考える リーダーを支えお互い育成し合う職場作りをめざす

7月12日	マーメッド販売記念 講演会	テルモ(株)	キャンパスプラ ザ京都	増粘多糖類による栄養剤の半固形成と物性 検討 進化する経腸栄養
7月28日 8月4日	H26年度コーチングスキル アップ研修	京都府社会福 祉協議会	京都テル サ	円滑な業務を遂行するために、コーチングの 知識と心得を学び、福祉職場におけるリーダ ー層の力を高めていく
8月7日 9月25日 10月24日	H26年度OJTリーダー養成 研修	京都府社協/ 京都府福祉人 材・研修セン ター	京都社会 福祉会館 京都テル サ	部下の育成方法や指導のスキルを習得する ことを目的とする
8月22日	H26年度京都府老人福祉施 設協議会・山城北ブロック 研修会	京都府老人福 祉施設協議会	特養ひだ まり久世	事故対応および訴訟ケースの事例報告 介護保険施設における事故発生について
8月25日 8月26日	H26年度 管理者 キャリアアップ研修	京都府社協/ 京都府福祉人 材・研修セン ター	京 都 テ ル サ	キャリアデザインと職場環境整備のあり方 を学び、福祉サービスの基本理念や理念の徹 底と浸透のための手法を習得する
8月26日	H26年度新任施設長・管理 者研修	京都府老人福 祉施設協議会	京都社会 福祉会館	「社会福祉法人の在り方」 意見交換、質疑応答
9月9日	老人福祉施設協議会 オープンセミナー	奈良府老人福 祉施設協議会	橿原文化 会館	地域包括ケア時代に求められる養護・軽費老 人ホーム・ケアハウスの役割
9月30日 10月6日 10月14日	H26年度 介護の基礎を学ぶ 連続セミナー	京都府社会福 祉協議会	京都テル サ	高齢者や障害のある方等の人生そのものに よりそう援助方法を学び、支援者としての介 護技術の基本を身につける

10月6日 ～11月23日	H26年度 介護支援専門員専門研修	京都府社会福 祉協議会	京都テルサ ハート京都	ケアマネジメントとそれに伴う介護支援専門員の倫理及び利用者の権利擁護ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方
10月7日	老人福祉施設 看護職・介護職研修	京都福祉医療 施設協議会	ハートピ ア京都	排便メカニズムについての講義 おむつをしている高齢者のスキンケアについての講義
10月7日	共済会 説明会	社会福祉施設 職員共済会	文化パル ク城陽	新しい給付金制度への移行説明会
10月21日	感染症・結核予防研修会	山城北保健所	宇治生涯 学習センター	感染症の予防と対策について 保健所の結核対策
10月23日	スキルアップ研修会	京都府 栄養士会	キャンパス が京都	摂食嚥下障害者への経口摂取のアプローチ と地域連携
10月23日	喀痰吸引等研修 指導看護師等フォローア ップ研修	京都府保健福 祉部・地域福 祉課	京都府医 師会館	たんの吸引等医療的ケアの医療と看護・福祉 の円滑な連携に向けて
10月23日	人材確保の進め方セミナー・採用力アップ研修	京都府保健福 祉部・地域福 祉課	京都平安 ホテル	人材確保の進め方 採用に結びつく魅力の伝え方
10月24日	H26年度 人権研修会	人権啓発行政 連絡協議会	呉竹文化 センター	同和問題とえせ同和行為の現状と対策
11月10日	H26年度近畿老人福祉施設 協議会職員セミナー	近畿老人福祉 施設協議会	大阪福祉 指導センター	利用者・家族の期待に応える真の専門職となるために、福祉職員は今何をすべきか

11月15日	第3回京都府介護支援専門員研究大会	京都府介護支援専門員会	メルパルク京都	ケアマネージャーにとって連携とは次期介護報酬改定で見えてきたもの
11月20日	H26年度 福祉サービス苦情解決事業セミナー	京都府福祉サービス運営適正化委員会	キャンパスプラザ京都	「苦情を受ける際の心構え」～今日的な苦情をどのように捉えるか～「要望、苦情をどう受け止め、どう生かすか」
12月3日	H26年度 府老協養護経費・ケアハウス・サポートハウス相談員連絡会	京都府老人福祉施設協議会	亀岡園	連絡会：情勢報告、情報交換、施設見学：高齢者あんしんサポートハウスリしよう
1月22日	H26年度 特定給食施設等従事者研修会（災害時栄養・食生活支援体制整備推進研修会）	山城広域振興局健康福祉部	文化パルク城陽	ガイドラインを活用し、各給食施設に応じたマニュアル作成や備蓄の推進を図ることにより、災害時の栄養・食生活支援体制の構築を図る。
1月24日	H26年度 企画研修（スキルアップコース～基礎～）	京都府介護支援専門員会	ハートピア京都	主観や経験則ではなく、共通の指針に基づいて、専門職としての判断の根拠を示せるケアプラン作成ができているか
2月17日 18日 19日	H26年度京都府介護支援専門員実務経験者更新研修	京都府介護支援専門員会	ハートピア京都	「介護保険制度論」「ケアマネジメントとそれに伴う介護支援専門員の倫理」「人格の尊重及び権利擁護」
2月18日	H26年度第2回 府老協南部地域 養護、経費・ケアハウス相談員連絡会	京都府老人福祉施設協議会	京都社会福祉会館	実践発表「ADL維持・向上に向けての取り組み～健康長寿を延伸するために」経費老人ホームブィラ城陽 瀬川正子氏
3月5日	共済会合同事務説明会	民間社会福祉施設職員共済会	メルパルク京都	「新制度(DB制度)関係」「福利厚生センター」「共済会関係」

3月22日	介護報酬改定に係る 説明会	京都府保健福 祉部・地域福 祉課	国立京都 国際会館	平成27年4月から適用される介護報酬改定 等に係る説明
3月24日	指定障害福祉サービス事 業者等に係るH27年度報酬 改定	京都府保健祉 部・地域福祉 課	ガレリエ 亀岡	京都府における障害福祉事業者等指導・監査 方針

## 平成26年度 日野しみずの里 事業報告

平成26年度は、平成23年11月に開所して10月末で満3年を迎えました。

開所後満3年という一つの節目ともなる年度となることもあり、「初心に戻って、京都伏見しみず病院グループ、弥勒会、日野しみずの里の基本理念、平成26年度の基本方針に沿った運営を行い、『住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい。』『日野しみずの里に来てよかった。こんなに元気になったよ。』と皆様に喜ばれる『利用者様の笑顔』を念頭に、利用者様・ご家族・地域の皆様の声に積極的に耳を傾け、安全で安心される施設生活・在宅生活を送っていただけるよう、全職員が利用者様やご家族によりよいサービスの提供」に努めました。

それらの実行のために、職員の充足（確保）、職員の知識・技能・人格の向上、適正な組織運営、丁寧立つ的確な対応と支援、ハウ・レン・ソウの徹底、事故防止・防災、研修の充実、情報の共有を基本方針として取り組んで来ました。

よりよいサービスを提供するには、職員が充足していなければなりません。しかし、今日の経済情勢から他の職業の買手市場となり、さらに近隣に新設施設が増えたり平成26年度は平成25年度以上に、介護職・看護職をはじめとした人材の確保が極めて厳しい年となりましたが、職員の努力・協力態勢と、グループ一体・施設固有の両面から様々な方法での人材確保に努めました。

特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業所の全事業所において、「理念を忘れず、利用者様・ご家族・地域の皆様に喜んでいただけるサービスの提供を、借入金の返済が始まる平成26年11月さらには数年後には訪れる建物・機器・備品等の改修等も視野に入れて、できる限り無駄のない運営」を念頭に取り組んで来ました。

### 1 事業所毎の事業運営

#### (1) 特別養護老人ホーム（参照＝8P）

「介護職員の確保の厳しさ」により平成25年6月中旬に110人目をご入居され、以後、入居者様の退居による入替えはありますが、ずっと満床状態です。

入居申請者は、約300人おられました。既に他の施設に入居されていたり、他界されている方を除いて、現在、緊急度の高い方は約30人という状況です。

参考までにはありませんが、当施設では開所以来平成26年度末の3年5カ月(41カ月)間に77人が退居(他界:58人・入院後退院できず:11人・他施設に入居:6人・在宅復帰:2人)されています。

平成26年度上半期は、入院されている方が11人の月や、同一月に5人が他界されるといった月があり稼働率が低迷しました。しかし、下半期は入院が1名の月や他界される方がなかった月もあり、予算に近い稼働率となりました。

支援にあたっては、平成26年度も、これまでどおり入居者様一人ひとりの状態を正確に把握し、入居者様・ご家族の求められているもの等を関係スタッフで話し合い、理解・協力し合ってその人その人に合ったオーダーメイドの支援を的確に行いました。

特養の事業としては、全体での行事とユニット毎の創意工夫を凝らした行事を実施しました。施設内で過ごしがちなことを余儀なくされる利用者様にできる限り外出や季節感が漂う行事を行いました。特養全体での行事は、デイサービスと合同で実施するものがありましたが、

4月:花見、7月:七夕、8月:夏祭り、9月:敬老会、11月:紅葉狩り、  
12月:クリスマス、1月:餅つき、2月:節分、随時:ボランティアによる  
音楽演奏・コーラス・大学生の箏曲等の鑑賞を、

ユニット単位での行事としては、ほぼ毎月、

外出レク:初詣、源氏ミュージアム、宇治植物公園、醍醐寺、天ヶ瀬ダムや城陽  
鴻巣公園周辺の紅葉鑑賞ドライブ

外食レク:近鉄桃山店(現在名:モモテラス)内の食堂、回転寿司等

買い物レク:近隣の商店だけでなく、少し遠方の大型店への買い物

おやつレク:ケーキ作り、たこ焼き、ネギ焼き、お好み焼等

誕生日、父の日、母の日のイベント

厨房の協力を得てのお寿司バイキングや流しそうめん

などを実施しました。

個人様の趣味を尊重しながら、ユニットを超えた入居者様の交流が図れる効果を目的に平成24年度後期に発足した園芸や手芸のクラブ活動は、皆様楽しく行われ、回を重ねるごとに充実してきました。

近隣に在住の書道の先生の協力のもと、平成26年4月15日に書道クラブを立ち上げ、以後毎月活動を行いました。今後はこれらに加えて、料理、絵画、カラオケ等のクラブを立ち上げたいと考えています。

特養での生活や行事など家族様へのお知らせ「輝石だより」は毎月利用料請求書に同封してご家族に発信を始めて26年度末には23号に達しました。

タイトルの「輝石だより」名は、「日野しみずの里」のユニット名を誕生石にしており、入居者様が長い人生の中で、切磋琢磨し磨き上げられた人生という名の石は

誕生石に勝ることのない輝きを放っていること、そしてこれからの残された時間の中で、入居者様それぞれの石がより一層、奇跡を起こし輝き放つようにと全ての誕生石を一つにし、名付けたものです。

## (2) ショートステイ（短期入所）（参照=8 P）

ショートステイ（短期入所）は、季節の変わり目・真夏・冬の利用率が急な体調変化等により低迷しましたが、僅かですが予算を上回る82.4%のご利用を得ました。

居宅介護支援事業所の業務の増加・利用希望の増加・ご利用者ご家族や事業所との調整・限られた職員と車輛による送迎が課題ではありましたが、内部努力により、平成25年9月から、これまで居宅介護支援事業所介護支援専門員が担当していたご家族や事業所との調整・送迎職員の調整等を担当する職員を配置しました。

可能な限り利用者様のニーズに沿うこと・事故があってはならないこと・日々利用者が変わるための難しさがありますが、正確な情報の基での確かな支援を行い、特養と同じ行事に参加していただくなどサービスの向上に努めました。

確実な荷物チェック、飲み忘れや飲み間違いがないように特に薬の徹底確認、送迎時間の厳守、安全な送迎に努めました。

リピーターが多いのが特徴ですが、昨年度に比べ稼働率が低下傾向にあり、3月から空室状況と居室写真等をチラシにして各事業所にPRに出向いています。

## (3) デイサービス（通所介護）（参照=8 P）

デイサービス（通所介護）は、エリアとなる醍醐管内で13ヶ所、宇治市東北部で10ヶ所ものデイサービス事業所が存在し、利用者様確保の厳しい地域に存在します。

こうした状況から開所当初は数人の利用でしたが、伏見区や宇治市の居宅介護支援事業所等に案内に出向くなど精力的なPR活動を行う中、徐々に登録者数・利用者数を伸ばしながら、平成25年度末には約70人の登録者を確保し、1日当たり約20人のご利用となりました。

しかし、最近、新たなデイサービス事業所ができたことや、登録者が病気・入院・施設入所などにより減少し、平成26年度は利用者様が1日平均で20人に満たず、特に平成27年になってからは15人や16人という結果になりました。

大きな課題であり、利用者様の増加に向けて、伏見区や宇治市の居宅介護支援事



業所等にチラシを持参して案内に出向くなど精力的なPR活動を続けるとともに、明るくて楽しさが伝わる開かれたサービスの提供を行ってきましたが、今後は利用者の獲得に向けて、どこにも負けない特徴のあるサービスの企画や営業活動の手法などを考えて行かねばなりません。

平成26年度の事業としては、利用者様に楽しんでいただける変化のあるプログラムや、季節感が漂う毎月の行事を取り入れました。

4月：花見、5月：母の日・父の日パーティ、7月：七夕会・流しそうめん、8月：夏祭り、9月：敬老会、10月：運動会、11月：紅葉狩り、12月：クリスマス会・餅つき大会、1月：新年会、2月：節分、3月：ひな祭りなどを実施しました。

また、「日野しみずの里」の名前を背負って送迎をしている送迎車は施設の顔です。毎日、清掃して綺麗な姿で運行しました。汚れている車は施設も同じように受け止められます。交通ルールを遵守し、他の交通の妨げや迷惑の無い万全な送迎を行い、狭い道路や停車時間が掛かりそうなときは、前後の窓に「ご迷惑をおかけします。只今、デイサービスの送迎中です。何かありましたらご連絡ください。」と記した札を車輛前後に掲示するようにしています。

34号まで発行したデイサービスの機関紙「日野しみずの里ニュース」はご家族からも好評を得ており、内容を充実しながら引き続いて発行して来ました。

#### (4) 居宅介護支援事業所

グループ、法人、施設の基本理念に沿った運営を行うとともに「住み慣れた地域でいつまでも」を念頭に、利用者様・ご家族・サービス提供事業者から一層信頼される事業所を目指してきました。

そして、できる限り住み慣れた地域での生活を維持できるように、利用者様の声に耳を傾け、利用者様・ご家族・医療機関・行政・サービス事業者との連携を密にし、利用者様ご本人に最適なサービスの提供を行い、在宅生活を継続的に支援しました。

事業目標・計画を、

- ① 利用者様の状況に合わせた迅速な対応、適正な居宅サービス等の提供についての計画策定・モニタリングを通して計画の達成度を評価し、安心して在宅生活を送れるよう援助することに努めました。
- ② 毎月の居宅訪問・モニタリング・サービス担当者会議を確実に責任のある開催を行いました。
- ③ 担当している利用者様で同居の支援者（配偶者・子・兄妹等）があるものの、

地域包括支援センターからの委託時には予防プランを作成しました。

- ④ 京都市、宇治市、その他市町村からの委託を受けた訪問認定調査・介護保険関係書類の申請代行を行いました。
- ⑤ 外部研修・内部研修に精力的に参加するなど専門性と資質向上に努め、業務に活かしました。

以上の努力の結果、介護給付の管理件数は、平成25年度中途からは、法令に則る上限(介護支援専門員1人当たり35件)の70件まで到達した状態です。

## 2 施設全体の事業運営

### (1) 各委員会の定例開催

より充実・進歩するように次の委員会を定例的に開催しました。

各委員会の構成は別紙(9~10P)のとおりです。

- ・入所判定委員会 ・特養運営委員会 ・ショートステイ運営委員会
- ・デイサービス運営委員会 ・感染予防委員会 ・褥瘡予防委員会
- ・防火管理委員会 ・サービス向上委員会
- ・事故防止、身体拘束抑制廃止委員会
- ・研修、教育委員会 ・環境整備、備品委員会 ・給食委員会

### (2) 人材の確保

これまで行ってきた新聞への折り込み広告、京都市全施設が一堂に集結しての年2回の「福祉就職フェア」へ参加しての人材確保努力を継続しました。

平成24年度後半からは、介護福祉士養成コースのある大学・高校や介護職員初任者・実務者(旧2級・1級ヘルパー)養成スクールを回っての施設案内・職員募集、施設見学者の案内・応募者の面接をし入職者の教育・研修担当にユニットリーダー格の介護職員をユニット業務との兼任で充て、施設長や事務長と共に行ってありますが、その効果が表れてきました。

平成26年度は一層精力的に各学校を回ることによって担当の教官や就職担当の先生との係わりも緊密になり、相互間での連絡調整がうまく行くようになりました。

平成26年度は、新入職者が早く一人立ちできるように知識・技能の向上を図る研修を入職時に一週間程度行いましたが、大きな成果があり、今後もより充実して続けて行くこととしました。

### (3) 感染防止への取組

以前にインフルエンザやノロウイルスに入居者・職員の10数名が感染したことから、これを教訓に来所者向けのポスター掲示、来所者・職員の手洗い・手洗いや消毒液の使用・マスク着用等予防の徹底を図ることにより、数名のインフルエンザ罹患者（ほとんどが職員）は出ましたが、「感染防止マニュアル」に沿った取組みをしたことにより短期間で終息しました。

また、感染防止委員会や窓口職員が中心になり、上記のことを一層強化したことにより平成26年度は数名のインフルエンザ罹患者の発生で留まりました。

### (4) 事故防止への取組

平成25年10月に事故発生時マニュアルを見直して全部門に配布し、徹底しました。

また、平成26年度は、これまでの事故を事故内容・発生場所・発生時刻別に集約し、今後の事故防止に役立てました。

### (5) 消防訓練

職員が少ない夜間を想定した避難を中心としたマニュアル訓練を2回（1回は消防署と共に）実施し、消防署員による講義を受けました。

また、事務所設置の防災通報機器の使い方を改めて事務所に在籍する職員を対象に消防署員から実習を受けました。

何度も繰り返しての訓練の重要性を実感しました。

### (6) 季節感等を味わえる食事の提供

特養・ショートステイ・デイサービスともに、毎月1日は赤飯、15日は松花堂弁当、元旦はおせち料理（デイは休日のためなし）など、記念日にはより工夫を凝らした食事を提供し、利用者様に喜ばれました。

### (7) 朝礼の開催・研修

日曜日を除く毎朝8時30分から、施設長、事務長、事務職員、管理栄養士、居宅介護支援事業所介護支援専門員、宿直員、支援相談室・医務・特養各フロア・デイサービスの代表が事務所に集まり、各々から昨日の出来事と今日の計画・施設内人数等を報告、施設長、事務長から通達・連絡事項を告げ、全員が情報を共有するために朝礼を続けました。

また、職員の知識・技能を向上させ、それを利用者様のサービスの向上に活かしていくことを目的に、様々な外部の研修会に参加、施設内での研修をしました。

（参照＝11～13P）

## (8) 家族会活動

4月に役員会が開催され、平成26年度の事業計画・予算等の審議が行われました。

6月には、第2回目の家族会懇談会が40名の参加により実施され、「認知症」をテーマに介護老人保健施設第二京しみずの梅村博也施設長（医師）の講演、手洗いチェックの後、入居者様の当日のおやつを試食、5班に分かれてのグループによるフリー討論が行われました。皆さんはとても真剣に講義を聞かれ、班別フリー討論では、日頃の思いや経験、情報交換等に変熱心で、時間が不足するという不満の声さえ出ていました。

アンケートを取りましたが、「非常によかった」「よかった」という回答が大部分で、大盛況でした。

## (9) 地域との関係

施設の運営には地域の方の協力がなくてはなりません。

そうしたことから日野学区の行事への参加、地域の方の施設見学、講演依頼には京都伏見しみず病院の医師に講師をしてもらったり、会議室の貸し出しをして地域との連携を図っています。

来客者用の駐車場が不足するときは向かいの店舗（宇治市になります）の協力を得て駐車場を借りています。

また、毎週月曜日には朝礼後に施設周辺の地域清掃（「門掃き運動」と呼んでいます）を行っていますが、住民や通行人の方の反応がよく、向かいの店舗も行われているのを目にするようになりました。

## (10) ボランティア

家族様が主体となっておられるグループの楽器演奏・コーラス、近隣の教会の聖歌隊のコーラス、職員の家族様のグループによる沖縄三線演奏、手品、ジャズバンド等、また、ご近所の方がユニットやデイ、クラブ活動の手伝いにも来てくださいました。

加えて、入居者様のご家族が運営されている保育園児の器楽演奏・コーラス、京都市東部文化会館（山科区）が主体として実施している「京都市アウトリーチ事業」に登録し、橘大学生の箏曲、記念日等には職員によるトランペット演奏等益々輪が広がっています。

入居者様やデイの利用者様はとても楽しみにしてくれています。ポスター等を通じてさらに多くの方の協力を求めています。

## 特別養護老人ホーム 日野しみずの里

利用状況（平成25年度）

（各月末の入居者数 単位＝人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	3	3	3	3	3	3	2	1	1	1	1	1
要介護2	14	14	14	13	12	11	11	11	11	11	11	11
要介護3	31	35	35	35	36	36	37	36	35	39	39	39
要介護4	33	32	32	33	35	35	34	34	34	34	34	33
要介護5	22	23	24	22	23	24	25	26	25	25	25	23
合計	103	107	108	106	109	109	109	108	106	110	110	107
稼働率	88.2%	88.6%	90.5%	92.2%	93.8%	93.9%	92.4%	93.8%	93.7%	95.0%	95.0%	92.8%
平均介護度	3.52	3.51	3.53	3.52	3.55	3.58	3.63	3.68	3.67	3.65	3.65	3.62

## 日野しみずの里 ショートステイ

利用状況（平成25年度）

（単位＝人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援Ⅰ											2	2
要支援Ⅱ	2	3	2	2		3		2	3	4	3	3
要介護1	16	19	22	20	19	28	31	28	26	26	22	33
要介護2	43	46	55	47	70	56	47	62	62	54	51	53
要介護3	120	135	117	123	119	124	113	116	132	117	102	131
要介護4	50	29	53	56	10	25	31	20	34	30	22	19
要介護5	41	29	21	37	34	26	32	30	23	20	12	15
合計	272	261	270	285	252	262	254	258	280	251	214	256
稼働率	90.7%	84.2%	90.0%	91.9%	81.3%	87.3%	81.9%	86.0%	90.3%	81.0%	76.4%	85.3%

## 日野しみずの里 デイサービス

\* 12/31～1/5 休日

利用状況（平成25年度）

（単位＝人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援Ⅰ	17	19	16	22	25	16	22	22	12	8	9	9
要支援Ⅱ	50	47	35	46	40	34	38	42	32	29	36	37
要介護1	168	162	177	201	227	195	198	180	187	180	158	175
要介護2	110	128	119	131	150	127	148	140	119	117	100	148
要介護3	147	170	129	131	114	103	123	121	103	74	69	84
要介護4	34	29	29	35	29	29	49	46	37	34	33	50
要介護5	9	8	9	9	9	8	8	12	8	7	6	9
合計	535	563	514	575	594	512	586	563	498	449	411	512
平均利用者	20.58	20.85	20.56	21.30	22.00	21.33	21.70	21.65	19.92	19.52	17.13	19.69
営業日数	26	27	25	27	27	24	27	26	25	23	24	26

## 特別養護老人ホーム 日野しみずの里

利用状況 (平成26年度)

(各月末の入居者数 単位=人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
要介護2	10	9	9	10	9	9	8	8	7	7	8	7
要介護3	37	39	40	39	40	44	45	43	42	43	42	44
要介護4	30	31	28	27	28	28	25	25	28	31	31	28
要介護5	32	29	31	30	29	28	30	33	30	28	29	30
合計	110	109	109	107	107	110	109	110	108	110	110	109
稼働率	94.3%	91.8%	92.2%	91.4%	92.8%	96.7%	97.7%	97.6%	95.4%	93.7%	97.3%	98.0%
平均介護度	3.74	3.71	3.72	3.69	3.69	3.65	3.69	3.74	3.73	3.71	3.74	3.74

## 日野しみずの里 ショートステイ

利用状況 (平成26年度)

(単位=人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援Ⅰ	4											
要支援Ⅱ	4	5	5	5	6	3	4	4	4	5	4	4
要介護1	36	37	47	60	56	56	58	35	24	35	29	23
要介護2	55	57	35	22	33	20	32	39	48	49	72	76
要介護3	117	118	120	122	144	164	150	119	124	106	78	80
要介護4	21	21	21	25	16	10	33	23	30	36	44	50
要介護5	10	13	23	11	12	9	8	11	18	13	8	8
合計	247	251	251	245	267	262	285	231	248	244	235	241
稼働率	82.3%	81.0%	83.7%	79.0%	86.1%	87.3%	91.9%	77.0%	80.0%	78.7%	83.9%	80.3%

## 日野しみずの里 デイサービス

\*12/31~1/4 休日

利用状況 (平成26年度)

(単位=人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援Ⅰ	12	12	12	9	11	13	8	4	7	9	12	12
要支援Ⅱ	39	34	38	43	39	35	40	32	35	35	35	38
要介護1	148	148	127	151	150	155	166	153	155	137	127	152
要介護2	180	169	175	162	162	175	166	159	153	150	113	125
要介護3	78	89	84	104	77	76	76	85	80	62	51	57
要介護4	45	30	22	21	24	21	32	37	39	39	37	42
要介護5	8	9	8	9	8	3						
合計	510	491	466	499	471	478	488	470	469	432	375	426
平均利用者	19.62	18.19	18.64	18.48	18.12	18.38	18.07	18.80	18.04	18.00	15.63	16.38
営業日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26

## 各委員会委員名及び目標・活動

<p>入所判定委員会 都度開催</p>	<p>西尾医師・坂田施設長 野瀬主任・荒川副主任 山口相談員・北川CM 松井CM 各FL</p>	<p>目標：入所選考規定に沿い、適格かつ円滑に入所者選考及び決定を行う。</p> <p>活動：施設規定に達するまでの期間は施設受け入れ態勢及び事前面接の状況等を勘案し、適宜入所判定会を開催する。定員を満たしてからは 委員会を定期開催し入所者の選考・決定を行う。</p>
<p>特養運営委員会 第4火曜日 13:00</p>	<p>坂田施設長・中川事務長 野瀬主任・荒川副主任 大段栄養士 南川（FL）佐藤（FL） 西川（FL）</p>	<p>目標：ユニットの円滑な運営と職員数確保を図る。三大なしケアを実施し安心安全なケアを実現する。</p> <p>活動：特養入居者の生活および運営に関連する内容に対して検討していく。</p>
<p>ショートステイ運営委員会 第4水曜日 11:00</p>	<p>坂田施設長・中川事務長 平副主任・荒川副主任 小林副主任 川端UL・畑中CW</p>	<p>目標：安定した稼働率の維持。稼働率を意識し向上を目指す。</p> <p>活動：ショートステイ利用者の面接および利用状況運営に関して検討していく。</p>
<p>デイサービス運営委員会 第3木曜日 15:00</p>	<p>坂田施設長・中川事務長 黒木L 竹川L</p>	<p>目標：年間・利用者・職員の笑顔と活気に満ちた明るいデイサービスにする。</p> <p>活動：デイサービス利用者の面接および利用状況運営に関して検討していく。</p>
<p>感染予防委員会 第3水曜日 11:00</p>	<p>坂田施設長 野瀬主任・北川CM 大段管理栄養士 1F 目片CW 2F 谷川CW 3F 大久保UL</p>	<p>目標：感染対策の理解と意識の向上。</p> <p>活動：感染症予防対策についての関連に対して検討していく。</p>
<p>褥瘡防止委員会 第3水曜日 11:30</p>	<p>坂田施設長 野瀬主任・北川CM 大段管理栄養士 1F 目片CW 2F 谷川CW 3F 大久保UL</p>	<p>目標：褥瘡発生の予防、適切な介護に努める。</p> <p>活動：褥瘡防止に関連に対して検討をしていく。</p>
<p>防火管理委員会 都度開催</p>	<p>坂田施設長・中川事務長 荒川副主任・小林副主任 1F 島崎CW 2F 林CW 3F 藤田CW デイ職員</p>	<p>目標：施設における火災や地震等の災害に対する被害予防と万一災害が発生した際の被害を最小限に食い止めることを目標とする。</p> <p>活動：自衛防火訓練やマニュアル研修等を通じ自衛消防活動の周知を図る。消火器や消火散水栓の使用方法等の習得。5月・11月に自衛防火訓練実施。</p>

<p>サービス向上委員会 第1木曜日 16:00</p>	<p>坂田施設長 荒川副主任・松下職員 北川CM 1F 藤井CW・大橋UL 2F 中武CW・井関CW 3F 門田CW・山本CW (中川事務長)</p>	<p>目標：利用者が全員参加できるレクレーション。 笑顔になれ、心に残るような行事にし、次回を楽しみにされるような計画をする。家族も参加し交流を図れるよう計画する。利用者・職員に対し良い方向になるよう考える。</p> <p>活動：施設サービスの向上に向けての検討を行う。 接遇面に対する維持・向上の検討行う。</p>
<p>苦情処理委員会 都度開催</p>	<p>坂田施設長・中川事務長 荒川副主任  「見直し中」</p>	<p>目標：アンケート等を作成。その結果をサービス向上に繋げられるよう対策を図る。</p> <p>活動：施設サービスの向上に向けての検討を行う。 接遇面に対する維持・向上の検討行う。</p>
<p>事故防止・身体拘束抑制廃止委員会 第2金曜日 15:00</p>	<p>坂田施設長 野瀬主任 1F 畑中CW 2F 下澤機能訓練士 3F 西川FL 北川CM・松井CM (どちらかが参加)</p>	<p>目標：(事故防止) 事故件数の軽減・再発防止及び研修の開催。 (身体拘束廃止) 身体拘束の理解を深める。</p> <p>活動：事故防止：事故報告書事例を集計し分析。その結果を各部署に回覧。防止策を講じた後に、その効果について評価する。 教育研修委員会と連携し事故発生防止の研修を実施。 身体拘束抑制廃止：研修などにおいて、廃止に向けた取り組みや施設方針などについて職員の意識づけ、周知徹底を図る。 身体拘束廃止：入居説明会や契約時に身体拘束について家族への説明し理解を得る。やむを得ず拘束する場合、マニュアルに基づき適切に行う。</p>
<p>研修・教育委員会 第2金曜日 11:00</p>	<p>平副主任・山田職員 野々口L 1F 谷UL 2F 池田UL 3F 久世CW</p>	<p>目標：職員の技術・知識の向上に役に立てるような研修体制を整え、施設全体のレベルアップができるように支援していきたい。</p> <p>活動：研修報告発表・勉強会等の検討・実施。</p>
<p>環境整備・備品委員会 第3水曜日 13:30</p>	<p>小林副主任・松本CM 1F 内海CW 2F 佐藤FL 3F 渡利CW</p>	<p>目標：コスト削減とマナー意識の向上。</p> <p>活動：施設内環境の整備・備品に関する検討。 コスト削減に取り組む検討を行う</p>
<p>給食・栄養管理委員会 第4火曜日 10:00</p>	<p>大段栄養士・野瀬主任 山口相談員 1F 岡田CW 2F 菅野UL 3F 岩岡UL</p>	<p>目標：季節感を味わって頂くために行事食を提供する。</p> <p>活動：施設の食事・おやつに関連に対し検討する。</p>



# 研修実施記録

## 施設外研修（平成26年4月～平成27年3月）

作成日 平成27年5月13日(水)

月 日	講習会名・テーマ	主催者・実施者	場所	参加者
平成26年4月18日	福祉職員の心構え	京都市社会福祉協議会	京都アスニ---第4会議室	福田 美和子(介護士)
平成26年5月21日～23日	京都府介護支援専門員研修課程Ⅱ		ハートピア京都3階大会議室	松本 真由美(介護支援専門員・居宅)
平成26年6月12日	成年後見制度・みまもり家族セミナー	日本ライフ協会	京都呉竹文化センター	平 修一(介護支援専門員・居宅主)
平成26年6月18日	介護保険法改正最新情報	京都フォレスト社会保険労務士法人	キャンパスプラザ京都	平 修一(介護支援専門員・居宅主)
平成26年7月4日	「支援者のための若年性認知症研修会」	森敏夫医師・中西栄子氏	京都医師会館310	平 修一(介護支援専門員・居宅主)
平成26年8月17日	BPSDへの関わり方	株式会社 雲母書房	大阪府社会福祉会館	岡田順子(介護士)
平成26年8月30日	胃腸増設の意義と管理について	山田 佳子(NST 専任看護)	愛生会山科病院	野瀬 智子(看護師 医務主任)
平成26年8月31日	PEGケアのトータルマネジメント	山田 佳子(NST 専任看護)	愛生会山科病院	大槻 朝子(看護師)
平成26年9月6日	いい人生やった その一言のために	中村 伸一氏	京都リサーチパーク西地区 4号館	奥村 裕貴(看護師)
平成26年9月6日	いい人生やった その一言のために	中村 伸一氏	京都リサーチパーク西地区 4号館	北川 亜里沙(介護支援専門員)
平成26年9月6日	いい人生やった その一言のために	中村 伸一氏	京都リサーチパーク西地区 4号館	荒川 真之(生活相談員副主任)
平成26年9月27日	社会福祉実習におけるケアワーカーの位置づけをめぐって	空閑 浩人氏	花園大学	野々口 貴詞(教育・採用担当リーダー)
平成26年9月30日	市労協 食事部会 認知症の方の食事ケア	田中 千嘉氏	ひと・まち交流館	大段 美貴子(管理栄養士)
平成26年10月15日	「KN式認知症ケアパスについて」	京都大学付属病院 神経内科 武地 一氏	京都社会福祉会館 3階 第5会議室	平 修一(介護支援専門員・居宅主)
平成26年10月17日	シヨートステイ交流研修発表会・情報交換会	橋本 武也氏・谷口 三夫氏	京都タワーホテル	西山 とき枝(シヨート相談員)
平成26年11月4日	第6回ユニット自慢大会	新型特養部会	京都福祉会館 4F	野々口 貴詞(教育・採用担当リーダー)
平成26年11月5日	新しい退職給付金制度への移行説明会	京都府民間社会福祉施設職員共済会事務局	キャンパスプラザ京都	中川 剛志(事務長)
平成26年11月13日	統合失調症について～家族も含めた支援～	北山病院・澤田親男先生	ハートピア京都3階大会議室	松本 真由美(介護支援専門員・居宅)

# 研修実施記録 施設外研修 (平成26年4月～平成27年3月)

月 日	講習会名・テーマ	主催者・実施者	場所	参加者
平成26年11月18日	社会福祉法人の役割と今後の在り方について	福祉医療機構 経営サポートセンター 千葉氏	社会福祉会館	中川 剛志(事務長)
平成26年11月18日	事例から学ぶケアマネジャーのクレーン方法	谷田 寿実先生	文化パルク城陽 東館 4F大会議室	松本 真由美(介護支援専門員・居宅)
平成26年12月3日	「また利用したくなるショートステイ」	ショート部会 ショート種類合同研修	修徳特別養護老人ホーム	西山 とき子(ショート相談員)
平成26年12月16日	チームリーダー養成研修	市労協主催(株)日本経営 渥美 崇史氏	京都テルサ 東3階BC会議室	佐藤 辰美(フロアリーダー)
平成27年1月24日	ケアプラン点検を学ぼう～課題整理 総括表を活用して～	公益社団法人京都府介護支援専門委 員会 理事 川添チエミ氏	ハートピア京都4・5会議室	松本 真由美(介護支援専門員・居宅)
平成27年2月7日	「課題整理総括表・評価表の活用について」～今、ケアマネジャーに求められる力～	嵯峨野病院居宅介護支援事業 所 川添チエミ氏	テルサ京都東館3階第8会議室	松本 真由美(介護支援専門員・居宅)
平成27年2月19日	家族の意思決定支援ならびに安らかな 再帰を迎えるための支援を学ぶ	田中 涼子氏etc..	京都府看護協会研修センター	大槻 朝子(看護師)
平成27年2月19日	①社会福祉法人改革について ②平成27年度介護保険制度改正	特別養護老人ホーム 緑風園 菊池雅様総合施設長	リーガロイヤルホテル京都 2階「朱雀の間」	坂田 博宣(施設長)
平成27年3月10日	摂食・嚥下と嚥下食について	株式会社クリニコ 担当職員 清藤 大輔氏	伏見区役所 伏見保険センター講堂	大段 美貴子(管理栄養士)
平成27年3月15日	「高齢者に特徴的な病気の症状と薬 の知識」		エル・おおさか	西山 とき子(ショート相談員)
平成27年3月22日	介護報酬改正説明会	京都府健康福祉部介護・地域福祉 課	国際会館	中川 剛志(事務長)

研修実習記録 施設内研修(平成26年4月～平成27年3月)

開催日	研修名	研修内容	担当	対象者	参加人数
平成26年4月6日～8日	平成26年度新入職員研修	施設オリエンテーション・基本的な介護技術等	教育・採用担当等	新人職員	6名
6月6日・20日 7月4日	AED研修	AED使用方法	業者	全職員	22名
6月中	感染予防研修	手洗いチェック	医務	全職員	全職員
8月25日	腰痛予防研修	基本的な姿勢・移乗など	外部	全職員	36名
9月20～31日	乗車体験	入居者体験として、車椅子等乗り実際体験行う。	研修委員会	未実施職員	12名
10月7日	新人職員(4月入職者)発表会	6ヶ月の振り返りと今後の目標を先輩職員の前で発表する。	教育・採用担当等	新人職員	6名
11月11・25日 12月9日	医務研修	インフルエンザ・ノロウイルスの講習	医務	全職員	全職員
平成27年3月11日	口腔ケア研修	正しい歯の磨き方etc	外部	全職員	
平成27年4月6日～8日	平成27年度新入職員研修	施設オリエンテーション・基本的な介護技術等	教育・採用担当等	新人職員	4名

## 平成26年度 深草しみずの里（仮称）事業報告

平成27年度事業として特別養護老人ホーム深草しみずの里（仮称）整備事業を推進するにあたり、平成26年度は、建物の各種設計及び建築確認申請が完了し、工事入札により施工業者が決定、平成26年12月に建物が起工されました。平成27年度は、平成27年12月竣工までの建築監理に加えて、設備機器の選定・職員の採用・入所者の獲得等々、平成28年2月の開所に向けて様々な準備を行ってまいります。平成28年3月に医療法人清水会が開設する回復期リハビリテーション病院及び介護老人保健施設と連携を密にししながら、計画通りの開設と開設後の安定運営を目指して事業に取り組んでまいります。

### 1. 平成26年度の事業進捗状況

平成26年	5月	建設委員会の設置
	7月	工事入札、施工業者決定、建築確認申請承認
	8月	工事請負契約書締結
	12月	地鎮祭、建物起工

### 2. 平成27年度の事業予定

平成27年	4月	給食業者の選定
	5月	設備機器の選定開始
	7月	職員採用活動開始
	8月	開設認可・開設指定申請開始
	10月	開設準備経費等補助金申請、保守関連業者決定
	12月	建物竣工、各種検査
平成28年	1月	各種開設準備
	2月	開所予定

### 3. 総括

平成26年度事業計画では平成27年7月開所を予定しておりましたが、「ケアフルヴェイレッジ伏見しみずの里（仮称）」全体の工事計画の遅れにより、開所が平成28年2月となりました。しかしながら、平成26年度事業計画策定時に懸案であった工事入札額も1,577百万円と予算を10百万円下廻って落札され、建築資金増加に対処すべく福祉医療機構の建築資金借入金についても、1,049百万円と当初予定額から200百万円増加で内定されました。平成26年12月の建物起工以降、建築工事も計画通り進行しており、平成27年12月竣工・平成28年2月開所に向け、万全の体制で臨みたいと思います。

<参考>

平成27年度 特別養護老人ホーム深草しみずの里（仮称）事業の概要

1. 整備計画の概要

所在地：京都市伏見区深草越後屋敷町17-5

事業所：特別養護老人ホーム（ユニット型） 110名

短期入所生活介護（ユニット型） 10名

通所介護 30名

開所：平成28年2月予定

2. 整備規模

敷地面積 5298.33㎡

建物面積 5609.54㎡

3. 資金計画

<運用>

土地代 565百万円

建築資金 1,577百万円

設計監理 36百万円

什器備品 100百万円

その他 120百万円

合計 2,398百万円

<調達>

補助金 366百万円

自己資金 211百万円

保証金 60百万円

借入金 1,761百万円

合計 2,398百万円

## 平成26年度 法人本部事業報告

社会福祉法人弥勒会法人本部は、平成26年度より理事会を補佐する事業部門として独立させ、法人全体及び各事業所の運営管理等を行ってきました。平成26年度は既存施設の運営管理に加えて、平成27年度に開設予定の特別養護老人ホーム「深草しみずの里」の整備状況についても逐一ご報告し、進捗管理してまいりました。

平成27年度も引き続き経営上運営上の課題を収集分析し、理事会にご報告するとともに法人全体及び各事業所の健全経営に努めてまいります。

### 1. 事業内容

#### ①理事会・評議員会の開催

定例開催 平成26年5月24日－平成25年度事業報告・決算等

平成27年3月28日－平成27年度事業計画・予算等

臨時開催 平成26年5月10日－深草しみずの里建設委員会設置規定

平成26年7月15日－深草しみずの里新築工事の契約

平成27年1月29日－平成26年度補正予算

#### ②グループ経営会議の開催

毎月1回開催－各事業所の予算達成状況の確認、経営上の問題点の改善等

#### ③各事業所運営会議の開催

毎月1回開催－各事業所運営上の問題点の改善等

### 2. 収支について

収入－各拠点区分(いでの里・日野しみずの里)からの繰入金収入

支出－役員報酬・兼務職員の人件費等

収支差額－ゼロ

### 3. 今後の課題

平成28年2月に開設を予定している特別養護老人ホーム「深草しみずの里」を計画通りに運営することで経営基盤がより強化されます。法人全体で入所定員349名、通所定員95名、職員数300名超の社会福祉法人として、より一層法人本部機能を充実させることが必要となります。医療法人清水会との連携を強化しつつ、法人本部機能を十分に発揮し、より良い法人経営に努めてまいります。